

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
173	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
<b>題名（原題／訳）</b>	
<p>Vested interests in addiction research and policy. Alcohol industry use of social aspect public relations organizations against preventative health measures.            研究や法令における既得権益：酒販業界における社会的活動と公衆衛生的取組み</p>	
<b>執筆者</b>	
Miller PG, de Groot F, McKenzie S, Droste N.	
<b>掲載誌（番号又は発行年月日）</b>	
Addiction. 2011 Sep;106(9):1560-7.	
<b>キーワード</b>	
酒販業界、企業の社会的責任、飲酒助長(drinkwise)、公衆衛生、企業の社会的活動、	
<b>要 旨</b>	
<p><b>目的：</b>            酒販業界における企業の社会的活動組織である SAPROs は学校における飲酒教育や TV 広告を通じた酒販業界の親切的介入プロモーションによって企業の社会的責任を果たす姿勢を見せる傍ら、酒飲料に対する高課税などの強いエビデンスに基づいた介入に対する疑いを醸成してきた。本論文では豪州国立健康予防タスクフォース(NPHT)に対する豪州酒販業界団体 SAPRO からの具申が企業の社会的行動的側面においてどのように行われてきたか検証した。</p> <p><b>方法：</b>            第 1 級アルコールに関する discussion paper Australia, the healthiest country by 2020 (n = 375) に記載された NPHT に対する具申内容をもとに酒販業界における企業の社会的行動について抽出した。その結果、飲酒助長に関する具申に対する 33 の主題分析を行い、どの組織、機関、個人が調査した。</p> <p><b>結果：</b>            33 のうちの 9 つの具申において飲酒奨励が議論され、全て酒販業界または関連団体から提出されていた。全ての具申内容において NPHT レポートに記載される推奨項目に酒販業界企業の社会的責任に関するエビデンスの提供や飲酒助長に関する酒販業界の業界寄りの取り組みの提案であった。</p> <p><b>結論：</b>            アルコール飲料に対する高課税等の効果的な介入に対するキャンペーンとして、飲酒助長は酒販業界の企業が社会的責任を果たしている印象を醸成するために使われてきた。</p>	